

あなたに届ける議会のホットニュース

うれしの 市議会だより

URESHINO

No.58

令和2年
7月28日発行

6月
議会の
ニュースの
とびら

**新型コロナ対策で
膨らんだ補正予算**
新型コロナウイルス感染症対策
の「特別定額給付金」他の概要
.....P2~5

臨時議会の中身
新型コロナウイルス感染症
関連で.....P6~7

議案の賛否どうなった
それぞれの議案に対する賛否表
.....P9

活発な一般質問
14名の議員が執行部と活発な
議論をくり広げました
.....P10~19

市長へ緊急要望書を提出
新型コロナウイルス感染症対策
の対応で市議会から緊急要望書
を提出しました.....P20

政務活動費の実績報告
令和元年度の政務活動費の
実績を報告.....P21

ときの人
高校球児の今.....P22

チャンスで一本を 嬉野高校野球部

発行：嬉野市議会 編集：議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲 1769 番地 TEL: 0954-66-9127 FAX: 0954-66-2887

一般会計 総額で 205億5200万円に

令和2年第2回嬉野市議会定例会は6月5日に招集され、6月22日まで18日間の日程で開催されました。

提案された議案は継続費・繰越計算書等の報告7件、専決処分の承認を求めるもの2件、条例の一部改正8件、まちづくり計画の変更について1件、令和2年度一般会計および特別会計補正予算3件、人事案件1件の計22件が上程され、6月17日に慎重に審議を行い賛成多数で全ての議案を可決しました。

(賛否表は9ページ)
また、同日に補正予算

1件、議員発議で嬉野市政治倫理条例の一部を改正する条例1件が追加上程され、最終日に全会一致で可決しました。

今議会の補正予算の主なものは、国のコロナ対策で「特別定額給付金事業」に26億355万円、小中学校の教育ICT環境の整備事業に1億323万円、また、産業給付金を含む緊急経済対策事業に9594万円、緊急防災対策事業に428万円、ひとり親世帯臨時特別給付金事業に3094万円が予算化されました。

補正後の総額は前年同期比38.2%増の205億5

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	29億8748万円	205億5230万円
特別会計	国民健康保険	▲74万円 35億7900万円
	公共下水道事業	0 4億6900万円

2300万円で過去最大の規模となっています。

国のコロナ
対策で
『特別定額給付金』
小中学校の教育ICT環境整備など
29億8700万円を補正



▲災害に備えて



▲現在の教育 ICT 環境 (塩田中学校)

補正予算
事業のポイント

特別定額給付金事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、簡素な仕組みでの確に家庭への支援を行う事業です。

専決処分議案であり、審議時には職員の努力で市民へ約93%の給付が済んでおり、順調に進んでいます。※7月10日時点で98%給付済み。

産業給付金含む
緊急経済対策事業

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出自粛や店舗の休業要請のため、農業をはじめ中小企業など様々な事業、経済活動に大きな影響を受けた市内事業所の経済支援対策です。

・「うれしのがんばろう!! 産業給付金」感染症拡大により影響を受けた事業者に対して事業継続を支えるための嬉野市独自

の給付金事業です。

・「〇inうれしの」県民を対象にコロナ等の影響でできなかった思い出作りをお手伝いする事業ですが、発表当日に予算額に到達するほどの高い人気でした。

・「うれしのウキウキパーク」嬉野市へ里帰りできなかった方へ市民が市の特産品等を送る事業です。

緊急防災対策事業
(避難所運営資機材)

近年、集中豪雨などの災害が毎年のように発生していますが、このような時の災害避難所において、新型コロナウイルスなどの感染防止のため、今まで以上の避難スペースの確保や特段の配慮が求められています。

今回整備予定の資機材は、避難所での密集回避と、飛沫拡散防止等に資することで感染予防対策を図り、避難者の感染リスクの軽減を図る事業です。

コミュニティ助成事業

市内7つのコミュニティ組織開設以来十数年が経過し、それぞれの地域色を出した活動が活発に行われており、地域のよりどころとして必要な存在となっています。

このコミュニティ活動のなかには生活環境の整備や地域の伝承芸能の保存活動、また、災害の多発化による地域防災組織の運営などがあり、行政も信頼をおく組織です。

今年度は茂手区の太鼓他活動備品、納戸料区の草刈機他活動備品の整備および「防災組織育成助成事業」として大草野地

区地域コミュニティに移動かまど他防災資機材の整備が決定しています。

情報通信ネットワーク
環境施設整備事業

国の「GIGAスクール構想」の背景には、学校のICT環境整備状況は脆弱であること、その利活用は世界から後れをとっている現状、また、地域間での整備状況の格差が大きいことから、国が5ヶ年計画で地方に財政措置をする事業であり、環境を整えて、今後、生徒一人が一台のパソコンを使用するように計画されています。

その他の主な補正予算

項目	金額
放課後等デイサービス支援事業	70万円
市有林森林経営事業	586万円
道路メンテナンス事業	1,000万円
指定農道・ふるさと農道整備事業	2,300万円
市史編纂事業	238万円
志田焼の里博物館老朽化対策事業	100万円
オリ・パラ関連事業	▲462万円

避難所の新型コロナウイルス感染症対策

緊急防災対策事業

428万円

災害時の避難所における新型コロナウイルス感染症防止対策が、予算化されました。

感染防止のために、段ボール間仕切り230セット、簡易ベッド60台の避難所運営資機材を購入し、密集回避や飛沫拡散の抑制に資するものです。



▲プライバシーに配慮した間仕切り

嬉野市には、すでに備蓄している保管分は段ボール間仕切り約40セットと簡易ベッド約20台があり、合わせて間仕切り約500人分、簡易ベッド約80人分が準備されることとなります。

また、追加補正予算で避難所等において、多数の人員でも非接触で即時に発熱者を特定できるサーモグラフィカメラ2台を購入します。

財源内訳は、国の地方創生臨時交付金で新型コロナウイルス感染症対応に100万円と一般財源328万円措置されます。

議会からは、今後新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波が予想されており、さらに増備するよう要望しました。

地域コミュニティ活動の充実・強化を図る

コミュニティ助成事業

680万円

地域のコミュニティ活動に必要な備品の整備や集会施設建設等に必要経費を補助することにより、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的として予算化されました。

事業内容は、財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するもので、助成金交付決定は、自治総合センターが行うものです。今回採択された事業は2事業（3地区）です。

「一般コミュニティ助成事業」
茂手区の太鼓他コミュニティ活動備品の整備費に250万円、納戸料区の草刈機他コミュニティ活動備品の整備費に250万円が予算化されます。

「地域防災組織育成助成事業」
自主防災組織育成助成事業として大草野地域コミュニティ運営協議会へ移動かまど他、防災資機材費として180万円の助成が決定されたものです。

更なる地域コミュニティ活動の充実が期待されます。



▲非常時に備えた備品の充実

働き方改革の推進と 事業継続性の確保

テレワークシステム導入事業

726万円



▲市民サービスが低下しないように

新型コロナウイルス感染症の影響により、職員の「働き方改革」の推進や行政サービスの持続性を確保するために、庁舎外から自宅パソコンへのリモートアクセスが可能になるように環境を整備する事業です。

市役所に出勤せず、自宅のパソコンで業務を遂行するもので、子育てや介護を抱える職員でも仕事を休まずに働ける仕組みを作りだそうとするものです。仕事の内容にもよりますが、主に事務系の職場を中心に、まず20台配置を検討しているとのこと。

今後、専門家に意見を聞き先進事例なども参考にしながら研究・検討を進めて「働き方改革」に取り組んでいくそうです。一番心配されるのは、行政や個人情報漏えいなどのセキュリティの問題で、複数の議員からその点に質問がなされ、万全の体制で臨んでほしいと思います。

教育ICT環境の 実現に向けて

情報通信ネットワーク
環境施設整備事業

1億323万円

小中学校の普通教室及び特別支援教室等において、安定かつ高速接続が可能な校内無線LANネットワーク環境の整備、タブレット型パソコン等を充電・保管するための充電保管庫の整備等を行い、今後の教育の情報化を支える情報ネットワーク基盤を構築する事業です。

財源は、7小学校と4中学校合わせて、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」の実現に向けた施策の国庫支出金（1/2補助）5095万円、学校教育施設設備等整備事業債4490万円、一般財源149万円となっています。

この事業の目的は、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するために、児童生徒1人1台端末機タブレットを前提とした高速大容量の校内LAN環境を整備するものです。



▲進む教育情報化

今後、オンライン授業やインターネットの最先端情報技術を使った教育がどんどん取り入れられてきます。それを教える先生方の研修や子どもたちがうまく活用できる環境づくりも大事になってくると思われます。

議会からも有効活用ができるよう意見が出されました。

第3回 臨時会

4月28日

経済対策第2弾 景気回復への支援事業

新型コロナウイルス感染症の追加対策として4月28日に臨時会を開催し、全会一致で可決しました。議案の内容は

緊急支援事業

「うれしのがんばろう応援給付金」は事業の継続を支えるため、市の単独事業として9060万円が予算化されました。

また、「休業協力金」として、県の休業要請により休業・時短営業した店舗等に対して970万円が予算化されました。

緊急経済対策事業

「おいしいをいっしょにキャンペーン」と銘打ち、市内の小売店等の消費喚起対策を行うこと

で、農産物を含む嬉野産品の消費拡大を図る事業として「うれしのタク配」、「うれしいわくわくパック」、「うつわdeグルメ」に合計583万円が予算化されました。

経済対策以外では、新型コロナウイルス感染症対策として小中学校へアルコール消毒液・非接触型体温計を購入する費用として44万4000円、5月中旬に申請開始の「特別額給付金」や9月から始まる国の消費活性化策マイナポイント制度に活用できる、マイナンバーカードの交付促進を図る事業として358万8000円も予算化されました。

なお、4月30日に国会で可決された「特別定額給付金」と「子育て世帯への臨時特別給付金」その他の「住居確保給付金」などの緊急福祉施策については執行部の専決処分が予算化されました。



緊急経済対策

事業名	事業費	内容
うれしいわくわくパック	168万円	市内の小売業者から仕入れて作る嬉野産品パックを塩田・嬉野両庁舎でドライブスルー方式で販売する。
うれしのタク配	225万円	市内のテイクアウト店舗からの配達をタクシー業者に頼めるサービス。
うつわdeグルメ	190万円	肥前吉田焼を購入した際に、出前やテイクアウトに使えるクーポン券を発行する。
休業協力金	970万円	佐賀県の休業要請に応じ休業や時短で営業した店舗に協力金を給付する。
うれしのがんばろう応援給付金	9060万円	今年1月から4月の売り上げが前年同月比で1ヵ月でも50%以上減少している全事業者等に給付する。

新型コロナウイルス感染症対策事業一覧表

事業名	事業費	財源	内容
保育対策総合支援事業	597万円	国	各保育所にマスク・消毒液購入費用、1施設50万円。
特別定額給付金	26億355万円	国	一律10万円を市民に配布。
子育て臨時特別給付金	3713万円	国	児童手当受給者、児童1人当たり1万円。
住居確保給付金	3420万円	国	離職、廃業等で住居をそう失または、そう失しそうな人に2万9千円～3万8千円を給付。
うれしの茶生産向上対策事業	500万円	国・市	中刈する茶園10a当たり1万円。
産業応援給付金	4450万円	国・市	売り上げ30%以上減少の事業所へ上限10万円。
マル〇 in うれしの	4000万円	国・市	県民限定で、宿泊費の半額を補助(上限1万円)。
うれしのウキウキパック	1144万円	市	嬉野の特産品パックを知人に、お得な価格でお届け。
マスク・消毒液	32万円	市	各小中学校や妊婦、重症化リスクの高い障がい者・子供に配布。
子ども・子育て支援交付金	150万円	国	ファミリーサポートセンター、放課後児童クラブにマスク等を購入。
ひとり親世帯臨時特別給付金	3094万円	国	ひとり親世帯等に1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円。

専決処分に反対



反対

茶の中刈補助の専決処分に
ついて(議案第42号)

山下芳郎議員

茶生産者への中刈の補助事業は賛同する。しかし、議案質疑でも確認したが、議会で審議すべき議案について議会を通さず、専決処分したことは議会軽視ではないか。

理由は茶生産者の申し込みは5月末で、摘採は6月以降もでき、生産者への支払いは年度末であり、専決処分とする急を要する事業ではない。

議会としてコロナ感染症対応を受け、臨時議会はいつでも開会できる用

意はできていたが開会されず、緊急対策本部の議題にも上がっていないので議会は知らなかった。

茶生産者全員が補助対象だが、周知できていない、税の公平さに欠ける。

議会で審議していれば、告知もできたと思う。

結果として、市民の負担に応える責務があり、この議案に反対する。



反対

議案第42号
専決処分

増田朝子議員

緊急経済対策事業(うちの茶生産向上対策事業)についての事業内容は、2番茶摘採を計画されていた茶農家について、1番茶後に中刈をされる茶園に対し、10a当たり1万円(定額)補助である。また、今回の緊急経済対策はお茶農家すべてが対象であるにもかかわらず、一部の団体だけに周知されていた。対象者に聞くと、佐賀県農業協同組合の事業は知っているが、市の事業は知らない。

① 周知期間も短く、申請受付の締め切り日が早かった。

② 緊急経済対策事業であるが、補助金として佐賀県農業協同組合に丸投げではないか。

③ 対象者全体に周知がなされず、公平性がない。

以上の理由で議案第42号に反対する。

情報通信ネットワーク環境 施設整備に反対



反対

議案第52号令和2年度嬉野市
一般会計補正予算(第5号)

山口忠孝議員

今回の補正予算には、緊急経済対策第3弾が盛り込まれ、一日も早い予算成立が望まれることには異存がございません。

しかし、この補正予算の中には、市内の小中学校における情報通信ネットワーク環境施設整備事業総額1億323万円が組まれてあり、何故、今必要なか気になって仕方がありません。感染症の影響がまだ残る学校現場の先生や子どもたちのことをどう考えているの

だろうか疑問に思われる。

3月から年度末をさみ5月までの休業措置がとられ、再開されひと月余りだが、厳しい学校運営や学校現場の先生方の苦勞や子どもたちの心の中に様々な影響を及ぼしていると考えます。

このような状況の中で、国の補助金があるとは言え、「唯唯諾諾」と予算化するのに納得できず反対の討論とする。

次ページは
一般質問

14議員が質問

- 山口 政人 議員 (P10)
- 諸井 義人 議員 (P11)
- 森田 明彦 議員 (P12)
- 芦塚 典子 議員 (P12)
- 川内 聖二 議員 (P13)
- 山下 芳郎 議員 (P14)
- 山口 虎太郎 議員 (P14)
- 山口 卓也 議員 (P15)
- 宮崎 一徳 議員 (P16)
- 諸上 栄大 議員 (P16)
- 増田 朝子 議員 (P17)
- 山口 忠孝 議員 (P18)
- 梶原 睦也 議員 (P18)
- 宮崎 良平 議員 (P19)

令和 2年 6月定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号																
		結果	表決数	1 山口卓也	2 諸上栄大	3 諸井義人	4 山口虎太郎	5 宮崎一徳	6 宮崎良平	7 川内聖二	8 増田朝子	9 森田明彦	10 辻浩一	11 山口忠孝	12 山下芳郎	13 山口政人	14 芦塚典子	15 梶原睦也
議案第42号	専決処分(第5号)の承認を求めることについて(令和2年度嬉野市一般会計補正予算(第4号))	可決	13:2	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	嬉野市税条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	嬉野市手数料条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	嬉野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	嬉野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和2年度嬉野市一般会計補正予算(第5号)	可決	14:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	嬉野市固定資産評価審査委員会委員の選任の承認について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	令和2年度嬉野市一般会計補正予算(第6号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第3回定例会(9月議会)会期日程(案)

9月															
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
開会	休会	休会	常任委員会	常任委員会	休会	一般質問	一般質問	休会	休会	一般質問	休会	休会	議案質疑	議案質疑	休会
9月										10月					
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
休会	休会	休会	討論・採決	議案質疑	議案質疑	休会	休会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	休会	休会	討論・採決・閉会

賛否表

会期日程

対策



山口 事業所等の支援策は有効活用できたか。

市長 大幅な売り上げ減少の事業者、休業要請の対象店舗等に対し、給付金・協力金と取り組んできたが、一連の政策を検証しながら応援していきたい。

山口 今回のコロナの影響というのは、自然災害とダメージが違うわ

事業所等の支援策は有効活用できたか

山口政人議員

答 政策の検証を行いながら努力していく

はないか

イムラインの策定を検討すべきではないか。

市長 市の新型インフルエンザ等対策行動計画を準用してきたが、今後の検証活動を進めていきたい。

避難所の感染症対策を

山口 災害時の避難所で感染症対策を検討すべきではないか。

市長 安心して避難していただくためにも、幅広く検討していく。

久間小学校のプールの活用は

山口 久間小学校のプールを今後どう活用していくのか。

教育長 敷地の活用については、学校の意向、地域、保護者の意見を聞いて有効活用をしていきたい。

久間小学校体育館横のトイレは解体すべきで

はないか

山口 体育館横のトイレ、シャワー室があるが、早く解体すべきではないか。

教育長 古くて暗くて危険度が高いと認識しているのでプール敷地跡地の件と合わせて検討していきたい。

有害鳥獣被害対策

山口 墓地を荒すイノシシ対策に補助できないか。

環境下水道課長 補助対象には厳しい面があるが部内で検討したい。

暗渠排水事業について

山口 国・県の制度に乗らない暗渠排水事業に市単独の補助はできないか。

建設・農林整備課長 周知が幅広くできるような方向性で要望を取ってみたい。

うれしのがんばろう!! 姫野市独自給付金 第3弾 予算額 44,500千円 (観光局工課)

産業給付金

新型コロナウイルス感染症拡大により、大きな影響を受けた事業者に対して、姫野市の特性を考慮し産業給付金を給付します。

対象となる全ての事業者へ

上限 **10** 万円

【対象】 生計の主たる事業 (他所所得の50%を占める事業で収入130万円以上) の今年1月から6月の売り上げが、前年同月比で **1** か月でも **30%以上** 減少している事業者など

※姫野市の休業協力金及び応援給付金を受給した方は、この産業給付金の受給はできません。

受付期間 **6月22日 ~ 7月31日**

申請に必要な書類

- 産業給付金申請書
- 滞納のない証明書
- 前年と本年の月別収支がわかる書類 (確定申告書の写し) など

姫野市

▲広く浅く支援を

コロナ



諸井 授業時数の確保・教育課程の進度調整はどのように図るのか。

教育長 2学期制、体育大会や文化祭の行事の見直し、夏休みの短縮で確保できると判断している。

諸井 プールでの水泳授業を行わないのは。

教育長 更衣の際の3密が避けられない。今年に限って水泳は行わない。

諸井 中体連についてはどうなっているか。

教育長 県大会以上は中止になっている。地区大会については、7月の土日を利用して開催する方向で進んでいる。

諸井 子どもたちが一番楽しみにしている修学旅行についてはどうなるか。

教育長 文科省のガイドラインによる。感染防止対策を最優先にする。3密をクリアしないと厳しい。行き先、日程等を

総合的に勘案して取り組む。

諸井 今後の予防対策及び安全対策はどうするか。

教育長 3密を避けること、マスクの着用、手洗い、消毒等感染予防策に努めている。塩田中や久間小ではフェイスシールドをしている。それぞれの学校で2mおきにポイントを打つなどソーシャルディスタンスの取組を行っている。

空き家対策・固定資産税について

諸井 空き家の現状と課題をどう捉えているか。

総務・防災課長 平成28年調査で482件となっている。相続や解体費用の面において解決が困難なケースが多い。

市長 地域の明日を支える人材誘致という観点からも空き家活用を進め

新 型コロナによる長期にわたる学校休校の影響は

諸井義人議員

答 夏休みの短縮で対応



▲フェイスシールドでの感染症予防対策

ていきたい。

諸井 耕作放棄地の現状はどうなっているか。

農業委員会事務局長 全体の約1割、227haが耕作放棄地となっている。所有者に対し、農地活用の意向確認及び改善指導を行っている。

諸井 固定資産税の収納率が県下で最低である。その対策は。

税務課長 県税事務所職員を派遣したり、国税OBの方にアドバイスしていただいたり地道な取り組みを続け、徴収率アップを図っていきたい。

民生委員児童委員活動 Q&Aの作成進捗状況は

森田明彦 議員

答 活動に役立つQ&A集を作っていききたい



たが進捗状況を伺う。

市民福祉部長 昨年12月の改選で半数以上の方が新しい委員になられたので、嬉野版の民生委員活動に役立つ「Q&A集」を作っていきたい。また、庁内のサポート体制は昼夜問わず対応ができるようにしている。

森田 活動現場では様々な問題や苦悩を抱えておられる。平成30年度以降の定数状況と、現状の把握はできているか。

市長 定数は74名で、平成30年以降充足していた。令和元年12月の改選期に1名欠員が生じたが、本年2月に補充され、現在は充足している。

また、定例会に担当職員も出席するので情報の共有はできている。

森田 2年前から「活動の目安と考え方Q&A」と、庁内サポート体制の組織化を提案してき

教育長 感染予防対策

災害時の感染症対策について

森田 災害時の避難や避難所運営の見直しが必要だが、現在どのような状況か。また、学校現場での対応計画はどのようなになっているのか。

市長 感染対策を考慮した避難所の資機材も購入予定であり、非常用持ち出し品リストも作成して啓発をすることを考えている。



災害時の代替道路の拡幅を

芦塚典子 議員

答 状況を見て国・県へ



芦塚 災害時の代替道路として国道34号、県道大木庭武雄線の拡幅整備はできないか。

建設・農林整備課長 交通量等の状況に応じて拡幅が検討される。現地の状況を見ながら、国・県

へ伝える。

芦塚 国道498号は、災害時には一部冠水するので、県道大木庭武雄線の早期復旧と拡幅整備ができないか。また国道34号には、片側2車線、あるいは一位原交差点に右折レーンを設けることができないか。

建設部長 医療センター開業で交通量が増えしており、また新幹線開業を見据えて要望はしていく。

梅雨期のダムの放流は

芦塚 一級河川のダム放流体制では、大雨が予想される3日前からダムを放流し、降雨をせき止める容量が全体で2倍になるような試算が、国交省より各自自治体に通達されている。岩屋川内・横竹ダムでもできないか。

建設部長 洪水調整流量が出水期（6〜9月）に2倍の許容量にはならないが、岩屋川内ダムで1m、横竹ダムで50センチ低く放流調整している。

コロナ経済対策は

芦塚 緊急経済対策事業で申請期間が短かった



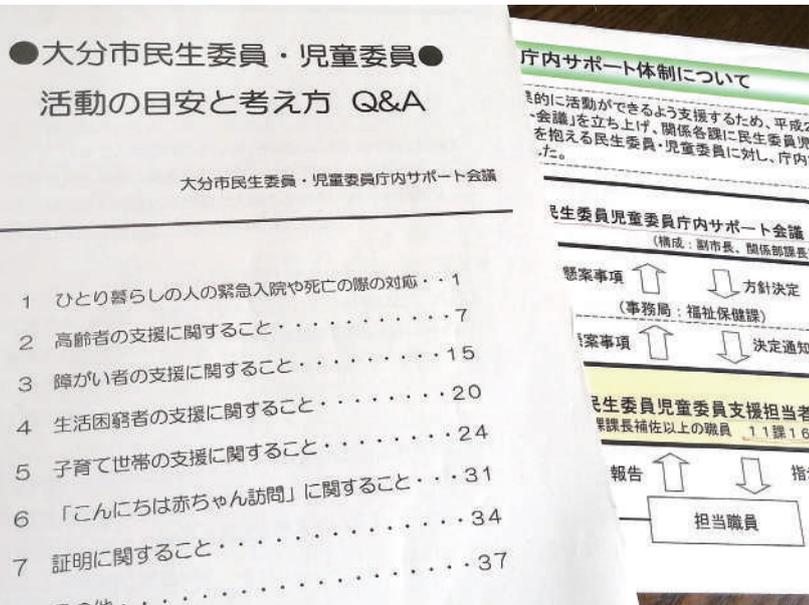
▲早期復旧を

が。 **観光商工課長** 休業協力金は見込みより、1.8倍の申請者があり、応援給付金は見込みより少なかった。今後は3割以上売上が減少している事業者を救う産業給付金の申請を受け付けている。

長期休業で教育状況は **芦塚** 学習の遅れは、上級学年に繰り越して、複数学年で解消されるのか。 **市長** 財源の大きいのが課題であり、現時点では給食費で運営していく。

教育長 夏休みが28日間と短縮され、また2学期制であるので、前年度の補充は新年度初めにできている。各学校とも計画的に指導している。

市長 コロナで今、家計が苦しい家庭があるので、給食費の無償化を時間的にでも考えられないか。



▲活動の一助に先進事例も参考に

市長 ケースによるも生するのは。

川内 太陽光再生可能エネルギー施設が原因で近隣の住居等に被害が起きた場合は責任所在も発生するのでは。

市長 当市では、嬉野市再生可能エネルギー発電設備設置指導要綱を制定している。これに基づき設置区域3,000平米以上のものについて届出により協議を行っている。

川内 3,000平米以下の施設に対しては。新幹線・まちづくり課長 3,000平米以下については届出の義務はない。ただし、国のガイドラインに沿って事業者が地域住民への説明会を開催して理解を得るように努めなければならない。



川内 第2波を回避す

川内 2022年度の新幹線開業に向けての企画等(P.R)は

市長 佐賀県、長崎県で2022年10月から12月に、JRのディスプレイーションキャンペーンも開催が決定しており、JR各社が北海道に至るまで総力を挙げて全国にPRを行う。

川内 2022年度の新幹線開業に向けての企画等(P.R)は

**再生可能エネルギー施設に
対しての条例は**

川内聖一議員

答 条例制定は考えてない

川内 今後の感染対策は

市長 3密を避け手洗い消毒をこまめに行うように、皆さんに自制をお願いしたい。

川内 今回、県は旅館ホテル生活衛生同業組合と協定し要介護者や要配

市長 施設側と話し合い、納得して活用できるように協議を進めていきたい。



▲普及する再生可能エネルギー施設

新 型コロナ対応と今後の対策は

山下芳郎 議員

答 影響に応じ支援する



山下 新型コロナウイルスの支援等は国、県、本市があるが、告知と救済の対応はできているか。
市長 総合窓口・コールセンターで部署を超えて対応している。
観光商工課長 総合相



▲次々に出る支援策

談窓口で観光商工だけでなく他部署の支援等も案内している。

山下 今後の追加予算計上はどのような状況か。

市長 感染拡大、市民や事業者への影響を調査し、支援策を考える。

山下 「Onうれし」の好評を受け、第2弾の販売ができないか。

市長 第1弾をまだ実施していないが、必要なら検討する。

山下 長期化が想定されるが、観光立市として関係団体と今後の対策を協議できないか。

市長 国が進めるGoTo

Toキャンペーンが始まるが、テイツーリズムなど旅館の経営者だけでなく地域の皆さんと取り組んで行こうと考える。

山下 GoToキャンペーンに向けて佐賀県及び近郊自治体、本市の関係団体と受け入れ体制の協議ができないか。

市長 意見交換の場を図っていききたい。

山下 コロナの影響で学校が休校となったが、いじめや不登校の生徒が増えているか。またメンタル対応はできているか。

教育長 子どものスト

新 型コロナ対策に総予算を示せ

山口虎太郎 議員

答 国の財源を活用し、行政サービスを図る



農家へ支援できなかったのか何う。

市長 感染拡大時期の入札時期で需要が見込めない中、在庫を減らす考えで子供たちや福祉施設へ茶の配布を行い、生産調整をする茶事業者へ支援をした。肥料の支援となれば公平性とか、まだ議論が必要と考えた。

山口 嬉野市緊急支援事業の応援給付金について何う。

市長 4月の臨時会で提案し可決いただいた。前年対比で50%売上減が1ヶ月でもある事業者に対し一律15万円を支給するもので、389事業者が利用され、6月補正予算で可決いただいた。産業給付金は30%売上減少の方に對して条件は有りませんが10万円を支給するものです。

山口 祭り等中止に代わる対策について

観光商工課長 新型コロナウイルスウイルス感染予防対策で3密を避けたいとならない、今後協議する。

山口 商店街では3密を避けた土曜夜市のあり方や花火大会に代わる手持ち花火大会など知恵を絞り頑張っておられる、また少グループ等の参加ができるよう活動費の支援ができないか。

山口 肥料代として茶

山口 肥料代として茶

山口 肥料代として茶

山口 肥料代として茶

産業振興部長 各種団体等や祭りに助成している。そちらの活用や協議をさせていただきたい。

医療センターとの協定書について

山口 鑑定評価の見直しの結果はごとなった。新幹線まちづくり課長 土地交換契約時期決定後、相互鑑定評価を行なうことになる。

山口 なぜ解体費については明記されていないのか。

市長 解体費についても全て合意ができています。時期がきたら説明いたします。



▲危険箇所の防災対策を



レスは大きなものがあつたが保護者の方々のご協力も頂いた。今後も子どもたちに寄り添って対応していきたい。

山下 終息後、田舎への回帰志向が増えると思われるが、具体的な受け入れの対応が必要ではないか。

市長 多様なメニューを用意したので改めてP

Rし、移住につなげたい。

山下 今までの価値観と大きく違ってくる。若い職員を中心に自由な発想の場づくりができないか。

市長 自由闊達な意見の場こそ名案が生まれると思うので検討する。

電子決裁等は検討したか

山下 合併当初から改革プランにあった電子決裁、また電子タイムカードでなく、ハンコ決裁であるがどうするのか。

市長 我々の責任としても積極的に進める。

副市長 電子決裁は当時経費が高くまだ早いと結論したが、今回導入を考える。

届出避難所制度を活用してはどうか

山口卓也 議員

答 検討に値する

災害対策について

山口 河川水位カメラの整備は進んでいるか。

市長 佐賀県首長会議の場で、県管理河川に河川水位カメラを設置してもらおうよう依頼している。また、市内ケーブルテレビ事業者にもテレビ放映ができないか相談している状況である。

山口 河川と山林が近接している箇所は自然災害において危険性をはら

んでいると考えるが、崩壊対策を講じるべきではないか。

建設・農林整備課長

市 県で行う急傾斜地崩壊防止事業については人家を守るための事業であり、当該事業の採択は非常に難しいと確認している。

山口

指定避難所が遠い地域において安心できる避難所を確保するため、自治区が自主的に開設、運営する「届出避難所」制度を活用し取り入

れるべきではないか。

市長

パソナルスペースや通路の確保が求められるなど、今後の指定避難所の受入上限等を考慮すると、多様な避難所の在り方として検討に値すると考える。

山口

より安心できるように「届出避難所」のハード整備（安全対策）の支援ができないか。

市長

様々クリアにすべき課題があると考えており、今後研究させていただきます。

感染症対策について

山口

経済対策の一環として実施した「〇inうれしの」が即完売の好評だったが、追加予算を組

む考えはないか。

市長

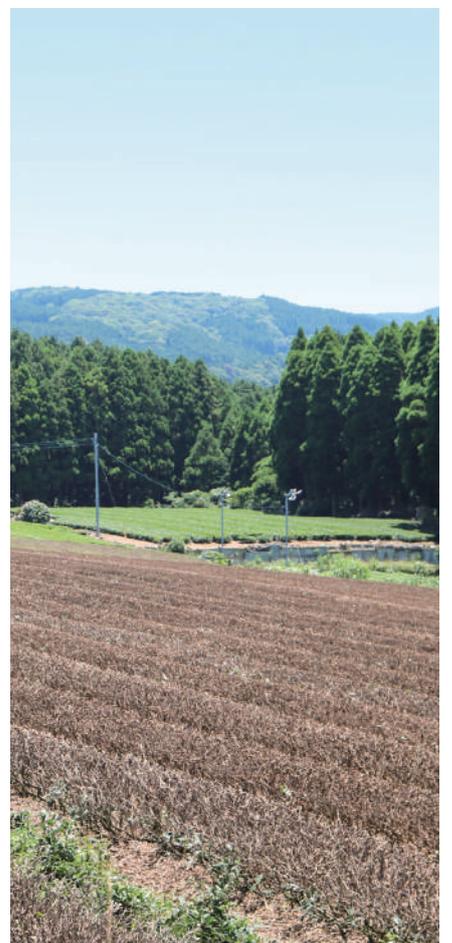
一過性で終わることなく次につなげる必要がある。追加予算については、色んな声をお聞きしながら考えていきたい。

山口

任意予防接種である子どものインフルエンザ予防接種について、子育て世帯の負担軽減、医療体制の確保、授業時間の確保の観点から、費用負担の助成を拡大してはどうか。

市長

長期的な展望に立てば予防接種をしっかりと何らかの支援をしていくことは大事だと考える。国の動向も注視しながら総合的に判断していきたい。



▲農業への支援策を



防 災対策の考えは

宮崎一徳 議員

答 関係機関と連携し地域の皆さんの命、財産を守っていく

宮崎 大雨時のダムの事前放流は。

市長 岩屋川内ダムが1m、横竹ダムが50cm、水位を下げて降雨に対する許容量を増強する運用を行っている。

宮崎 県の河川砂防課との打ち合わせは。

建設部長 今年2月25日に事前放流の取組について説明を受けた。

宮崎 市内の自主防災組織の組成状況は。

総務・防災課長 自主防災組織として、7つのコミュニティと1つの行政区の8組織で活動している。

宮崎 自主防災組織は、行政区でも形成すべきではないか。

総務・防災課長 コミュニティが、その地域の行政区と連携して防災活動を担っている。

避難所の停電対策は

宮崎 市の施設で非常

用電源設備があるのは。

総務・防災課長 避難所としては、楠風館、リパティ、中央体育館である。

宮崎 可搬式非常用電源設備を有する企業、事業所等との災害時協定は。

総務・防災課長 九州電力と災害復旧に関する覚書を締結している。

森林整備について

宮崎 市有林整備の現状と課題は。

建設・農林整備課長 木材価格が低い水準で横ばい状態であり森林経営にも影響が出ている。また、車両等の到達が困難な所もあり、木材の搬出・管理がしづらく収入につながらない森林もある。

課題は、管理や木材搬出がしやすい森林を増やし、森林の健全化を図ることである。

観光対策について

宮崎 地元民で嬉野再



▲雨期前のダム事前放流を

宮崎 アフターコロナの観光客の誘致対策は。

市長 先を見据えた取り組みとしては、密をつくらず、賑わいをつくる、一見矛盾する挑戦が必要である。観光振興策を次々と打ち出していき

発見ツアーを組んで、観光客に案内する場所を選ぶのはいかがか。

市長 地元の人さえあまり通らない小道を周遊ルートとして提案するなど地域の皆さんと一緒に盛り上がりがつくれればと考えている。

市民のセーフティネットを守るためには

諸上栄大 議員

答 各課連携とアウトリーチの視点が重要



諸上 新聞報道では生活保護の相談が急増とあったが市の状況はどうか。
福祉課長 昨年同時期の状況とほぼ変わりはない。

い。今後、相談や申請件数は増えるかもしれないので随時対応をしていきたい。

諸上 市民のセーフティネットを守るためには、幅広い情報収集や迅速な対応が必要と考えるがいかがか。

市民福祉部長 生活保護については大きな動きはないが、生活困窮者自立支援制度において活発な申請が続く、住居確保給付金についても申請があっている。相談者の隠れたニーズに敏感に対応することが重要と考えるとともに、幅広く情報収集を行うためにも徴収業務等を行う職員との連携について、早速、取り組んでいるところである。

新型インフルエンザ等対策行動計画の見直しを急げ

諸上 平成26年12月に策定された行動計画の見直しはどのように考えているのか。

健康づくり課長 新型インフルエンザ等対策特別



▲環境整備の充実を

増田 2022年度に九州新幹線西九州ルートが暫定開通する。そこで、

開業機運の醸成を図れ

市民福祉部長 お互い子育てに関してそれぞれプロの立場で関わっているの、意見交換、情報共有の場を作っていく必要があると考えます。

増田 他にも婦人相談員や子ども家庭支援員、家庭相談員、学童保育、保育園、幼稚園などの情報共有の場も必要と思われるのがいいか。

市民福祉部長 相談機関同士の連携は非常に大事と思う。子育て支援センターとはイベントの紹介など少しずつ連携がとれている。他の機関との連携については、課題と

思っているので強化していきたい。

市長 広域のPR、選ばれるまちを目指し、シティプロモーションの基本計画を今回策定した。地元から足固めをしながら、関西・中国地方に向けて進出の基盤は整っている。

増田 今後PR活動をどのような方法で行っていくのか。

市長 今後PR活動をの青写真を市民と共有し、市民一丸となって取り組みたい。

市民への情報提供や情報公開等、市民と行政が一体となった盛り上がりが必要と思うがいかがか。



▲細やかな配慮を



子育て関係の連絡会開催を

増田朝子 議員

答 強化をしていきたい

者の声を伺うと、リュッケの存在を知らない、豊の部屋がいいなどの声があった。リュッケを知ってもらうためにも、子育て関係機関の情報共有の場としての連絡会開催が必要と思われるがいかがか。

措置法の第8条第1項で市町村行動計画が規定されている。今後、佐賀県の行動計画の見直しも出てくると考えられるため、状況を見ながら対応していきたい。

学校行事について

諸上 修学旅行は、子どもたちの大切な思い出であると思う。県外で宿泊する修学旅行が中止となった場合、市内観光施設への宿泊で思い出作り

ができるよう考えられないか。

教育長 修学旅行は子どもたちにとって一生の宝になるものと思っている。今の段階で中止の声は聞いていない。密の部分をクリアすれば修学旅行はできると考える。しかし、最悪の時には、そのような嬉野に泊まるという事も考えていいのではと思う。経済効果のプラスになりうるし、選択肢の一つに入れ込んでもいいと考える。

地

元高校生のバス通学に補助は出来ないか

山口忠孝議員

答 様々な方面から勉強したい



山口 地域公共交通の具体的な解決策はあるのか。

新幹線・まちづくり課長 厳しい状況にあり、事業者への補助金で対応している。まずは公共交通に親しんでもらう活動に取り組みたい。

山口 昨年行った高校生との「議員と語ろう会」で、学校関係者から生徒数の減少対策として、事業者への補助ではなくバス通学の生徒への補助が効果的でないかと提案があったがいかがか。

新幹線・まちづくり課長 通学補助の提案があり意見

交換したことがあったが、その時点では対応できなかった。今後様々な方面から勉強したい。

市長 地域にとって高校の存在は大きい。地方創生関連予算の中に地元高校との連携があるので研究してみたい。

山口 嬉野中学校の制服がどうして変更になったのか。

教育長 学校独自で検討委員会を立ち上げ、中学校区の保護者や小学生の保護者、生徒の意見を伺い協議されて、決定されている。

山口 制服は廃止するのか。

教育長 制服は学校独自で決めるもので、教育委員会はオプザーバーで

自決めるもので、教育委員会はオプザーバーで

議 会提出の緊急要望書に対する所感は

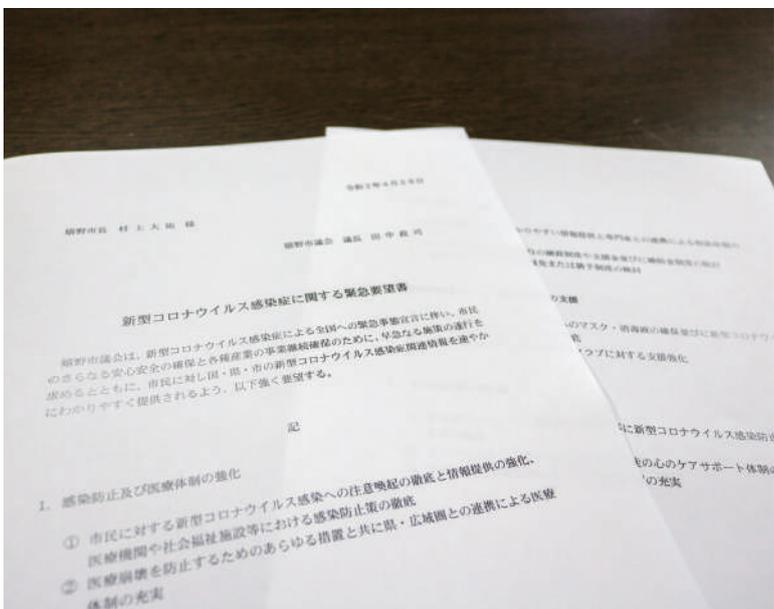
梶原睦也 議員

答 要望書によって腹が決まった



梶原 新型コロナウイルス感染症から市民の命と財産を守るトップとしての決意と第2次補正予算の地方創生臨時交付金に対する基本的な考え方は。

市長 我々行政は何のためにあるのか。まさに



▲真摯な対応を

命を守るといふ、この原点に立ち返る必要がある。とりわけ弱い立場の人たちに思いを至らせて、市政運営をしてまいりたい。2次補正はソフト・ハード両面から、アプローチする。

梶原 議会提出の緊急要望書に対する市長の所感は。

市長 提言をきっかけて足を止めることなく動くという、私の中でもある意味では腹が決まった

梶原 議会提出の緊急要望書に対する市長の所感は。

市長 提言をきっかけて足を止めることなく動くという、私の中でもある意味では腹が決まった

注している。7月中旬ぐらいに入る予定。

梶原 コロナ禍の中、高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成支援を一定期間高齢者の全年齢層を対象にすべきでは。

市長 総合的に検討する必要があると考える。

梶原 全市民一律の経済的支援の考えは。

市長 通常業務の中で困った人を助けていく、それが命を守る行政だと認識する。

梶原 総合相談窓口の充実を。

観光商工課長 総合相談窓口には専門の職員を1名配置し対応をしている。

梶原 宿泊施設との協定の中は。

総務・防災課長 介護を要する高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児及びその家族、介護者の一時避難。

9月入学について

梶原 コロナ禍の中9月入学の話があったが教育長の考えは。

教育長 嬉野としては現段階では必要ないと思っている。

市民福祉部長

既に発



▲高校生にも通学支援を

あり強制はしない。

多様化の時代で、ブレザーやこれまでの詰め襟タイプ、女子生徒のスカートやスラックスなど「選べる制服」が8種類ほどある。

市長 ダイバーシティ 多様性の時代なので学校や生徒たちの自主性に期待している。

事業の見直しや予算の組み換えは

山口 新型コロナウィルスの影響で市民生活や経済活動に大きな変化が出ているので、市政への取り組みも当然変らざるを得ないのではないか。

市長 未来への投資もありすぐに組み換えはできないが、大規模なイベント等の開催は控えざるを得ないので早急に検討したい。また、市税の減収額の把握を早急に行い、必要であれば事業の見直しも検討したい。



宮崎 新型コロナ終息が見えない中、わが市の新幹線駅前周辺整備事業において、事業の進捗や交付金等に影響が考えられるか。

新幹線・まちづくり課長 事業者の公募にあたり、今回の非常事態宣言等を受け、関係機関との協議等で一定の制限があったが、オンライン会議などを行い、準備を進めてきた。また、公募に係る説明会も現地でも事業者参加の下で、実際に行っている。

宮崎 コロナ禍において経済の状況、投資の意欲など不透明な部分はあるが、令和4年度の開業に向け事業を推進していきたい。

高崎 西九州ルート整備方式次第で、まちづくりや2次交通の在り方に大きく影響を及ぼすと考えるが見解を伺う。

市長 未着工区間も含めて、嬉野市は、従来から全線フル規格による整

新

幹線駅前周辺整備事業への影響は

宮崎良平 議員

答 新型コロナでの遅れの報告はない

備を求めてきている。やはり関西、新大阪直通を実現することで関西、中国地方市場からの広域の誘客が見込める。また、企業立地も含めた優位性等は、市が今、様々進めている成長戦略の上でも欠かせない要素だ。国・県の様々な動向を注視し、それに対応しながら構想を描いていきたい。

コロナ禍での職員のケアを

宮崎 緊急事態宣言が出された経緯を考えれば、未曾有の災害と言っても過言ではない。市職員の業務も明らかに増大しており、また、国や県の事業においても職員が一番矢面に立たされて説明をしている状況にある。今後の業務遂行、市民サービスに万全の体制で臨めるように、職員の健康状態及びストレスチェック



▲ 2022年度の開業に向けて

等を特別にすべきではないか。

行政経営部長 職員のメンタルヘルスは、毎年健康診断と併せて行っている。また両庁舎にて月一回予約制で健康相談を

受けている。

市長 社会不安が渦巻く中、風当たりが強くなることで、職員の健康、特に心理面の健康というのも考慮しながら対応していきたい。

市長へ緊急要望

新型コロナウイルス感染症に関する 緊急要望書

嬉野市議会は、新型コロナウイルス感染症による全国への緊急事態宣言に伴い、市民のさらなる安心安全の確保と各種産業の事業継続確保のために、早急なる施策の遂行を求めるとともに、市民に対し国・県・市の新型コロナウイルス感染症関連情報を速やかにわかりやすく提供されるよう、以下強く要望する。

一、感染防止及び医療体制の強化

- ① 市民に対する新型コロナウイルス感染症への注意喚起の徹底と情報提供の強化、医療機関や社会福祉施設等における感染防止策の徹底
- ② 医療崩壊を防止するためのあらゆる措置と共に県・広域圏との連携による医療体制の充実

二、市民生活への支援

- ① 生活支援臨時交付金事業の迅速なる執行
- ② 総合相談窓口の設置と共に土曜・日曜の相談を可能とし、市民へのきめ細やかな相談支援体制の整備
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響により各種税及び公共料金等の支払いが困難となった市民に対し減免または猶予の措置
- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対する支援の充実
- ⑤ 各種事業への支援
 - ① 各種資金繰り支援のわかりやすい情報提供と専門家との連携による相談体制の充実
 - ② 緊急事態に即応した市独自の融資制度や支援金並びに補助金制度の検討
 - ③ 各種税及び公共料金

四、放課後児童クラブ・保育所等への支援

- ① 放課後児童クラブ・保育所等へのマスク、消毒液の確保並びに新型コロナウイルス感染症防止対策と衛生管理の徹底
- ② 学校休業中における放課後児童クラブに対する支援強化

五、小中学校等への支援

- ① 各学校へのマスク、消毒液の確保並びに新型コロナウイルス感染症防止対策と衛生管理の徹底
- ② スクールカウンセラー等による児童生徒の心のケアサポート体制の強化
- ③ 学校休業の影響を補い得る学習支援体制の充実

令和2年4月28日提出

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

佐賀県労働組合総連合
議長 北野 修

固定資産評価審査委員会委員 選任の承認

固定資産評価審査委員会委員の1名に欠員が生じたことに伴い、補欠の選任に対して承認を求められ全会一致で承認しました。

任期は令和2年5月1日から
令和3年2月16日まで

平野初巳氏 塩田町大字久間

令和元年度政務活動費を 公表します

政 務 活 動 費

令和元年度の政務活動費を報告します。
貴重な公金を使用する

政務活動費ですから議会として、今後も嬉野市発展のため有効な活用がで

きるよう努力していきま

支出項目	支出額(円)	利用延べ人数
研究研修費	498,294	5
調査研究費	882,394	11
資料作成費	0	0
資料購入費	876,422	14
広報費	0	0
広聴費	0	0
人件費	0	0
事務所費	0	0
要請・陳情活動費	60,340	1
会議費	0	0
その他の経費	26,950	1
合 計	2,344,400	

※公費負担額のみ表示

交付額 3,840,000 (24万円×16名)
返還額 1,495,600

閉会中の委員会 付託案件	所管の公有財産について 新型コロナウイルス感染症関連について	総務企画常任委員会
	新型コロナウイルス感染症関連について	文教福祉常任委員会
	所管の公共施設について 新型コロナウイルス感染症関連について	産業建設常任委員会

議会に対する市民の理解と認識を深め、開かれた議会の充実のために、分かりやすい紙面づくりに奮闘しています。

議会広報編集特別委員会が活動



▲編集に励む広報編集委員

嬉野市議会の5名が永年議員として全国市議会議長会表彰を受賞されました。
議員在籍 15年以上で田中政司議員、10年以上で山口政人議員、山下芳郎議員、山口忠孝議員、辻浩一議員です。今後も益々の活躍を期待します。

全国市議会議長会表彰で5名が受賞



▲表彰された5名の議員

～高校球児の今～ 嬉野高校野球部

とぎの人



山口大翔君 (左) (電気科3年・塩田中出身)
原口颯太君 (右) (電気科3年・嬉野中出身)

問：新型コロナウイルス感染症の影響で3月の選抜大会の中止、さらに、夏の全国高校野球選手権大会の中止が決定したとき、どのような気持ちでしたか？

大翔君：目標だった甲子園がなくなつて非常に残念で、今まで練習してきたことを思い出し、最後まで皆と野球がしたいと思いました。

颯太君：自分が3年間やってきたことが何も形に残ら



た。

ないということだったので、すごく悔しい気持ちでした。

問：(甲子園の) 代替大会となる佐賀県のSSP杯(佐賀県高等学校入スポーツ大会)に向けての意気込みを？

大翔君：チャンスで1本を打てるように打撃練習を頑張ります。そして、優勝を目標に、チームとしてバントを常に1発で成功できるように基本をしっかり練習していきます！

颯太君：甲子園という形ではないですが、代替試合で形として残るので嬉しかったです。優勝を目指して、バッティングのレベルや守備の連携を高めたいです！

問：どのような大人になりたい？

大翔君：当たり前のことをしっかりできて、人間性豊かな大人になりたいです。

颯太君：自分の事は自分ででき、周りを見て気配りができる大人になりたいです。

問：嬉野市政に対して思うことは？

大翔君：新型コロナウイルスの影響で観光客が来なくなつて経済的にダメージを受けているので、もっと人が集まるようにイベントとかを実施してほしいです！

颯太君：お茶などを活かしてPRをして嬉野市の観光を盛り上げてほしいです！

取材を終えて：新型コロナウイルスの影響で今年も全国大会(甲子園)が中止になり残念でしたが、代替大会となるSSP杯に向けて、練習に励んでいる元気ハツツな高校生の声を聞くことができ、頼もしく、応援したい気持ちになりました。



「不易と流行」

コラム

「不易」とは時代を超えて変わらないもの。「流行」とは時代の変化とともに変えていく必要があるもの。俳人松尾芭蕉の言葉として伝えられています。実際には、弟子の去来などが書き記したものに芭蕉の言葉として残されています。

▼教育において「不易と流行」という言葉はよく使われます。どんなに社会が変化しようとも教育の真理は変わらない「不易」。社会の変化に関心をもち、時代の変化とともに変えていく必要があるもの「流行」▼議会及び現代社会においても「不易と流行」をバランスよく使い分けて、時代に即応できる精神を養いたい。(義人)

議会広報編集特別委員会

委員長	森田明彦
副委員長	諸井義人
委員	山口政人
	山口忠孝
	川内聖二
	宮崎一徳
	山口卓也